



トゥー ウィークス ノティス

TWO
WEEKS
NOTICE

HUGH GRANT
SANDRA BULLOCK



キャッスル・ロック・エンターテイメント 配給 ビレッジ・ロードショー・ピクチャーズ NPVエンターテイメント
フォーティス・フィルムズ 配給 ヒュー・グラント サンドラ・ブルック "TWO WEEKS NOTICE"
アリシア・ウィット デイナ・アイビー ロバート・クライン ヘザー・バーンズ 監修 ジョン・パウエル
監修 スーザン・E・モース, A.C.E. 監修 ビーター・ラーキン 監修 ラズロ・コバックス, A.S.C.
製作 配給 メアリー・マクラグレン プルース・バーマン 監修 サンドラ・ブルック 監修 マーク・ローレンス
オリジナル・サウンドトラック: バイオニア LDC/ラングリング・レコーズ AOLキーワード: トゥー・ウィークス
www.warnerbros.co.jp



スキだと気づいたのは、奴のせいで辞表を出した時でした...

ずっと待ってた2003年の キング・オブ・ラブストーリー

あの『ブリジット・ジョーンズの日記』を超えたアメリカをはじめ、イギリスでもNO.1大ヒットを記録!

好きだと気づいたのは、辞表を出した時でした…

トゥー・ウィークス・ノーティス

「お金なんか関係ない! 納得のいく仕事をしたいだけ」そんな信念と正義感に燃える弁護士ルーシー (サンドラ・ブロック)。順調にキャリアを積んできたけれど、どこか満たされない。そんな彼女が出会った運命の人は、世界で一番「ありえない相手」だった……!

理想家肌の「できる女」ルーシーは、ひょんなことから、不動産会社の御曹司にして広告塔、ハンサムだが軽薄なジョージ (ヒュー・グラント) の下で働くことになる。半年もたたないうちにルーシーは、優柔不断な性格のジョージのネクタイ選びから離婚訴訟調停まで面倒を見るはめに――。

「こんなことをやるためにこの会社にいるんじゃない!」とキレたルーシーは2週間後に辞めると宣言。やがて後任の女性弁護士が採用される。なぜか心がざわつくルーシー。一方ジョージも、自分のもとを去るルーシーに、これまで感じたことのない感情を味わっていた……。誰よりもしっかりしているように見えて恋には不器用、自分の中に眠っている女性らしさに気づいていないルーシー。数え切れないラブ・アフェアを経験しながら、お金以外に愛情表現の方法を知らないジョージ。

自分の気持ちに気づくのが遅すぎた二人が愛をつかむには?
これまでに経験したことのないパターンの恋をしてしまった二人が歩み寄る方法は?



ニューヨークを舞台に2大スターの競演がついに実現!

ロマンティック・コメディを演じたら右に出る者はいないと言われるサンドラ・ブロックとヒュー・グラント。そんな二大俳優の夢の共演がついに実現!お互い、以前から共演を待ち望んでいた二人だけに、初共演ながら洒落た会話のリズムや息もピッタリ。彼らの年齢、キャリア、すべてが昇華して、時間に追われ、現代を生きる男女の切ないラブストーリーを等身大の姿でリアルに演じている。この豪華でスタイリッシュなラブストーリーの舞台には「ティファニーで朝食を」「ユー・ガット・メール」でおなじみの世界で最高にロマンティックな街、ニューヨークが選ばれた。

「この作品はニューヨークへのラブレターよ」とサンドラが語るように「トゥー・ウィークス・ノーティス」ではルーシーの危機を救ったジョージが、ヘリコプターの中から摩天楼を見おろし、クライスラー・ビルの名前の由来を語って聞かせたり、ニューヨークの魅力を一風変わったアングルで紹介したりと、今までのラブ・ストーリーにない演出もこの作品の魅力の一つ。こうして最高のキャスト、最高の舞台で繰広げられる「トゥー・ウィークス・ノーティス」は、2003年を代表する、切なくてチャームなキング・オブ・ラブストーリーなのだ。



5月24日(土)よりロードショー! 特別鑑賞券絶賛発売中(一般¥1300) <一部劇場を除く>

丸の内ピカデリー1 03(3201)2881	新宿ピカデリー 03(3352)1771	新宿ジョイシネマ1 03(3209)6180	渋谷東急2 03(3407)7219	池袋シネマサンシャイン 03(3982)6101	
上野セントラル 03(3932)0057	109シネマズ木場 03(5683)1009	T・ジョイ大泉 03(5933)0141	錦糸町シネマ8楽天地 03(3631)7020	お台場シネマメディアージュ 03(5531)7878	吉祥寺セントラル 0422(48)6521